



ちゅういっぷぐみだより

2017年 5月 第1号

風薫る爽やかな季節を迎え、園庭のこいのぼりは、子ども達を見守っているかのように元気に青空を泳いでいます。

新年度が始まり、新しい環境に少しずつ慣れ、子ども達の笑顔も増えたように感じます。子ども達が安心して生活を送れるよう、スキンシップをたくさん図り、毎日笑顔で元気に過ごしていきたいと思えます。

2歳児ってこんな時期

体の動かし方も上手になり、言葉も沢山覚え、行動や自己表現の幅がぐんと広がる2歳児。一方で第一反抗期と呼ばれる時期にも当たり、何でも「自分で」や「イヤイヤ」が多く見られるようになります。決して反抗しているのではなく、まだ言葉だけで思いを伝えるのは難しいので、自分の思いを伝えようとする精一杯の言葉なのです。自己主張をするようになってきた成長の証です。「三つ子の魂百まで」と言われるように、この時期は子ども達にとってとても大切な時期です。子どもの「イヤイヤ」を受け止め、「〇〇したかったんだね」、「出来なくて悔しかったね」などと子どもが上手く表現できずにいる気持ちを代弁し、そっと見守り、些細な事でも沢山褒めてあげましょう。園生活でも、子ども達が様々な事に興味を持ち“自分でやってみよう”とする姿を大切にしていきたいと思えます。時には上手くいかない事もあるかもしれませんが、子ども達の頑張りを見守り、応援していきたいです。



ちゅういっぷぐみの生活



進級して1ヶ月が過ぎ、少しずつ自分で出来ることが増えてきました。ちゅういっぷぐみでは、ロッカーや下駄箱、タオル掛け等、自分の場所が分かるように、男の子はクマ、女の子はお花で色分けをしてマークを付けました。登園後にはノートを出し、タオルを掛けて靴をロッカーに片付ける事を習慣づけています。少しずつ自分のマークを覚えてきて「ここ！」と得意顔。保育士が手伝わなくても上手に片付けていくことが出来るようになってきました。

丈夫な体づくりの一環として、遊戯室にて体操をしたり、走る、ジャンプ、スキップ、ギャロップなどを行った後、“エビカニクス”や“チェケマッコヨ！”などを踊って楽しんでいます。「マッコヨやりたい!」、「ばけちゃんがいい」と曲をリクエストしてくれたり、歌詞を覚え、口ずさんだりしながら踊る姿がとても可愛らしいです。また、天気の良い日は、戸外に出て沢山体を動かして遊んでいます。遊びの中で、鉄棒に1～10まで数えながらぶら下がることを始めました。自分の順番になると、張り切って鉄棒に手を伸ばし、一生懸命頑張っている子ども達です。

これから様々な音楽やリズムに触れ、体全体で表現する事を楽しみ、豊かな心を育てていくと共に、跳び箱や平均台などを取り入れ、体を動かす楽しさを十分に味わえるようにしていきたいと思えます。



クラスでは、自分の経験した事や考えなどを言葉で伝える事が出来るよう、生活発表の場を設けています。お忙しいとは思いますが、ご家庭でも園での様子をお子さんに聞く等、コミュニケーションを取って頂くようお願い致します。